

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月9日(2022.3.9)

【公開番号】特開2021-142388(P2021-142388A)

【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-045

【出願番号】特願2021-103048(P2021-103048)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 312 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月1日(2022.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動口への遊技球の入球に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、前記識別情報が特定態様で停止表示したに基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

開放することで遊技球が入球可能となる可変入球口と、

前記可変入球口に入球した遊技球が所定の特定領域を通過したに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記特別遊技中の所定時期に前記可変入球口を開放させ、前記特定領域への遊技球の通過有無に基づいて前記特典を付与するか否かが決定される特典決定遊技を実行する特典決定遊技実行手段と、

所定の動作態様で動作することにより、前記可変入球口に入球した遊技球を前記特定領域に誘導可能な可動部材と、

前記可変入球口への遊技球の入球を検知可能な入球検知手段と、

前記可変入球口に入球した遊技球の排出を検知可能な排出検知手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を有効とする有効期間を前記特典決定遊技にて設定可能な有効期間設定手段と、を備え、

前記特典付与手段は、前記有効期間中に遊技球が前記特定領域を通過したに基づいて前記特典を付与するものであり、

前記可動部材が動作していないときには前記特定領域への遊技球の通過が不可能となり、前記可動部材が動作して動作状態にあるときには前記特定領域への遊技球の通過が可能となり、

前記所定の動作態様として、少なくとも第1動作態様と第2動作態様とを有し、

前記第1動作態様は、前記可動部材を第1時間前記動作状態とする態様であり、

前記第2動作態様は、前記可動部材を前記第1時間よりも長い第2時間前記動作状態とする態様であり、

前記可動部材は、前記特典決定遊技での前記入球検知手段による検知数に基づいて動作可能であって、該検知数が第1所定値となったことにに基づいて動作する場合には前記第1動作態様で動作可能であり、該検知数が前記第1所定値よりも大きい第2所定値となったこ

40

50

とに基づいて動作する場合には前記第2動作態様で動作可能であり、  
前記可動部材が前記第1動作態様で動作する場合には、前記第2動作態様で動作する場合に比べ、前記特定領域への遊技球の通過可能性が低く、  
前記可変入球口に入球した遊技球は、前記特定領域又は前記特定領域以外の領域を通過して排出され、  
前記入球検知手段及び前記排出検知手段の検知結果に基づいて、前記可変入球口に係る遊技球の入球数と排出数とが一致するか否かを判定する判定処理を実行可能であることを特徴とする遊技機。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

すなわち、本発明の遊技機は、

始動口への遊技球の入球に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、  
前記識別情報が特定態様で停止表示したことに基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

開放することで遊技球が入球可能となる可変入球口と、

前記可変入球口に入球した遊技球が所定の特定領域を通過したことに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記特別遊技中の所定時期に前記可変入球口を開放させ、前記特定領域への遊技球の通過有無に基づいて前記特典を付与するか否かが決定される特典決定遊技を実行する特典決定遊技実行手段と、

所定の動作態様で動作することにより、前記可変入球口に入球した遊技球を前記特定領域に誘導可能な可動部材と、

前記可変入球口への遊技球の入球を検知可能な入球検知手段と、

前記可変入球口に入球した遊技球の排出を検知可能な排出検知手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を有効とする有効期間を前記特典決定遊技にて設定可能な有効期間設定手段と、を備え、

前記特典付与手段は、前記有効期間中に遊技球が前記特定領域を通過したことに基づいて前記特典を付与するものであり、

前記可動部材が動作していないときには前記特定領域への遊技球の通過が不可能となり、前記可動部材が動作して動作状態にあるときには前記特定領域への遊技球の通過が可能となり、

前記所定の動作態様として、少なくとも第1動作態様と第2動作態様とを有し、

前記第1動作態様は、前記可動部材を第1時間前記動作状態とする態様であり、

前記第2動作態様は、前記可動部材を前記第1時間よりも長い第2時間前記動作状態とする態様であり、

前記可動部材は、前記特典決定遊技での前記入球検知手段による検知数に基づいて動作可能であって、該検知数が第1所定値となったことに基づいて動作する場合には前記第1動作態様で動作可能であり、該検知数が前記第1所定値よりも大きい第2所定値となったことに基づいて動作する場合には前記第2動作態様で動作可能であり、

前記可動部材が前記第1動作態様で動作する場合には、前記第2動作態様で動作する場合に比べ、前記特定領域への遊技球の通過可能性が低く、

前記可変入球口に入球した遊技球は、前記特定領域又は前記特定領域以外の領域を通過して排出され、

前記入球検知手段及び前記排出検知手段の検知結果に基づいて、前記可変入球口に係る遊技球の入球数と排出数とが一致するか否かを判定する判定処理を実行可能である

20

30

40

50

ことを特徴としている。

また、本発明に関連する他の発明の遊技機は、

始動口への遊技球の入球に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、  
前記識別情報が特定態様で停止表示したことにに基づいて特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

開放することで遊技球が入球可能となる可変入球口と、

前記可変入球口に入球した遊技球が所定の特定領域を通過したことにに基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記特別遊技中の所定時期に前記可変入球口を開放させ、前記特定領域への遊技球の通過有無に基づいて前記特典を付与するか否かが決定される特典決定遊技を実行する特典決定遊技実行手段と、

所定の動作態様で動作することにより前記特定領域を開閉させ、前記可変入球口に入球した遊技球を前記特定領域に誘導可能な可動部材と、

前記可変入球口への遊技球の入球を検知可能な入球検知手段と、

前記入球検知手段により検知された遊技球の入球数を計数する入球数計数手段と、

前記可変入球口に入球した遊技球の排出を検知可能な排出検知手段と、

前記排出検知手段により検知された遊技球の排出数を計数する排出数計数手段と、

前記特定領域への遊技球の通過を有効とする有効期間を前記特典決定遊技にて設定可能な有効期間設定手段と、を備え、

前記特典付与手段は、前記有効期間中に遊技球が前記特定領域を通過したことにに基づいて前記特典を付与するものであり、

前記可動部材が動作していないときには、前記特定領域が閉鎖して前記特定領域への遊技球の通過が不可能となり、前記可動部材が動作して動作状態にあるときには、前記特定領域が開放して前記特定領域への遊技球の通過が可能となり、

前記所定の動作態様として、少なくとも第1動作態様と第2動作態様とを有し、

前記第1動作態様は、前記可動部材を第1時間前記動作状態とする態様であり、

前記第2動作態様は、前記可動部材を前記第1時間よりも長い第2時間前記動作状態とする態様であり、

前記可動部材は、前記特典決定遊技での前記入球数計数手段による計数値に基づいて動作可能であって、該計数値が所定の第1計数値となったことにに基づいて動作する場合には前記第1動作態様で動作可能であり、該計数値が前記第1計数値よりも大きい第2計数値となつたことにに基づいて動作する場合には前記第2動作態様で動作可能であり、

前記可動部材が前記第1動作態様で動作する場合には、前記第2動作態様で動作する場合に比べ、前記特定領域への遊技球の通過可能性が低く、

前記可変入球口に入球した遊技球は、前記特定領域又は前記特定領域以外の領域を通過して排出され、

前記入球数計数手段及び前記排出数計数手段の計数結果に基づいて、前記可変入球口に係る遊技球の入球数と排出数とが一致するか否かを判定する判定処理を実行可能であり、前記特別遊技は複数回のラウンドを含み、

前記ラウンドが終了するごとに所定のインターバル期間が設定され、

前記ラウンドとして、前記特典決定遊技が実行される特定ラウンドを有し、

前記特定ラウンドが終了する場合に設定されるインターバル期間で前記判定処理を実行可能である

ことを特徴としている。

10

20

30

40

50